

# 神奈川県建築士会・防災委員会の経緯

## 委員会活動について



## ・防災委員会設立のきっかけ

### ○ 新潟県中越地震

- ・発生時期：平成16年10月23日
- ・規模：M 6.8
- ・被害規模：全壊 3,175 棟、半壊 13,810 棟、一部損壊 105,682 棟

### ◆ 神奈川士会派遣について

- ・派遣日時：平成16年11月10日～14日間 5日間
- ・派遣人数：44名 延べ111名
- ・派遣先：長岡市内を中心
- ・相談件数：300件
- ・相談体制：2～3名

### ○ 新潟県中越沖地震

- ・発生時期：平成19年7月16日
- ・規模：M 6.8
- ・被害規模：全壊 342 棟、半壊 99 棟、一部損壊 465 棟

### ◆ 神奈川士会派遣について

- ・派遣日時：平成19年8月1日 1日間
- ・派遣人数：40名
- ・派遣先：柏崎市全域
- ・相談件数：137件（現地調査 123件、電話相談 14件）
- ・相談体制：4班編成（7～8名）で、2～3名

新潟県中越地震が発生  
当会に、被災地住宅相談の  
支援要請があったが、  
体制がなかった！！



## ①. 神奈川県建築士会・防災委員会の経緯

### • 2005. 5 防災特別委員会の設立

2004年の新潟県中越地震の被災地住宅相談の活動を機に、防災に対する意識が高まる。

建築士として、日頃より、防災に関するスキルUP、情報収集、準備の必要性がある。



# ・ 2011. 5 防災委員会となる

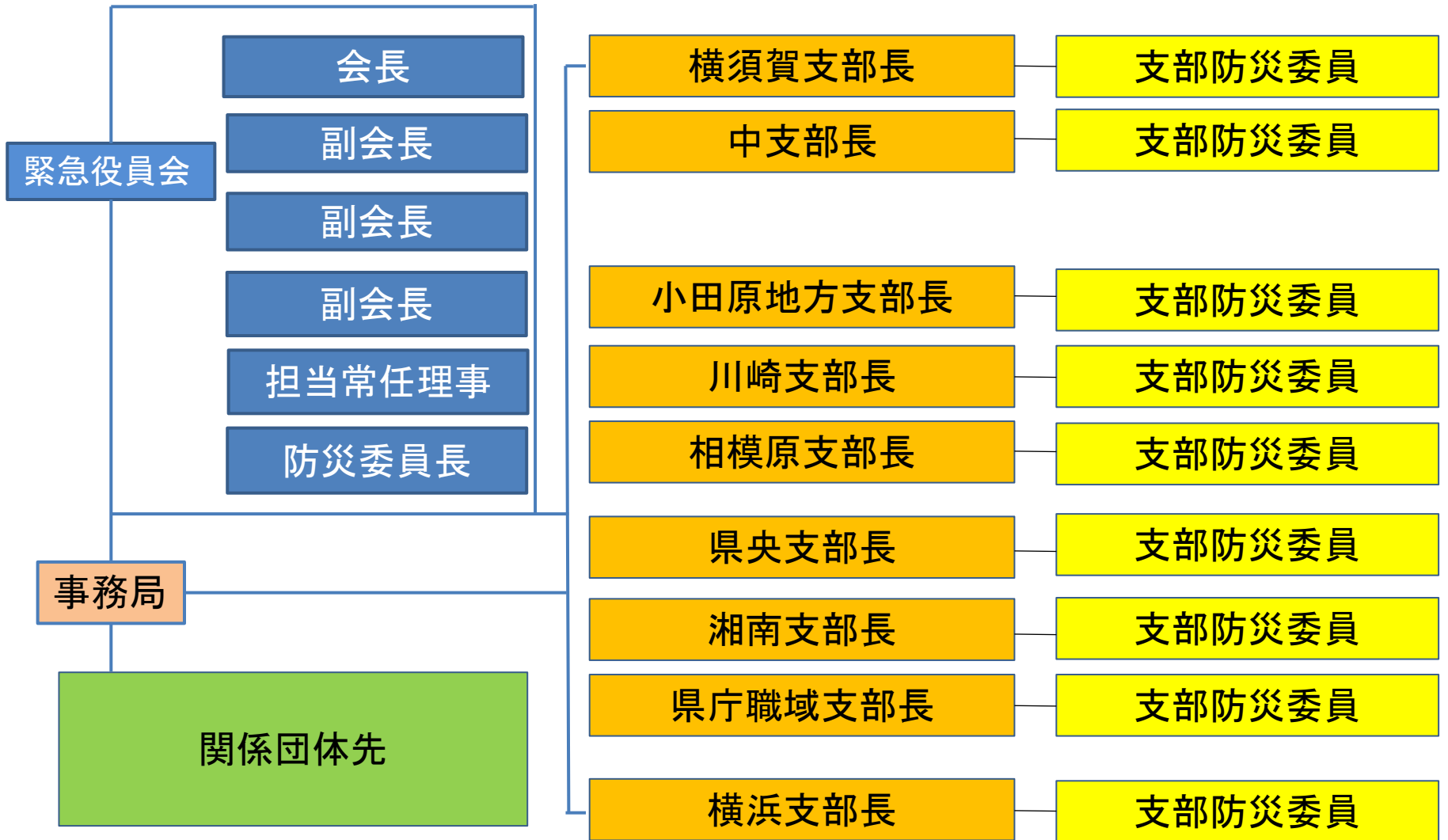
特別委員会ではなく、他の委員会と同じように  
日頃の活動も期待されるようになる。

- ・ 2013  
一般社団法人神奈川県建築士会となる  
・ 防災委員会規程作成



- **地震大国(災害大国)の日本、被災した地域への支援だけでなく、被災する可能性も高い現状を把握。**
- **新潟県中越地震により、突然の被災地住宅相談の要請に対し、相談員の確保、準備に初めての体験で、大変苦労した。**  
(現地状況が分からない、どこまでの準備が必要か、連絡が行き届かないなど。。。。)
- **突然の災害に備えが重要  
被災地住宅相談の体制づくり開始**
  - 防災連絡網の作成
  - 相談員の確保(相談員の登録制)
  - マニュアル作成
  - 他団体との協定

(一社)神奈川県建築士会防災連絡網



## \* 他団体との協定等 災害時の住宅相談

### ① 神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会

…神奈川県大規模災害対策

数多くの専門知識を有する民間団体等が人材を組織し、緊急・応急・復興事業を迅速かつ円滑に進めるための支援体制・予防対策に寄与する。

### ② 神奈川県

…神奈川県における大規模災害発生時の住宅対策

本県で災害が発生した場合に持家再建支援の一環として住宅相談を行う。

### ③ 関東甲信越建築士会 ブロック会

…被災地住宅相談  
キャラバン隊

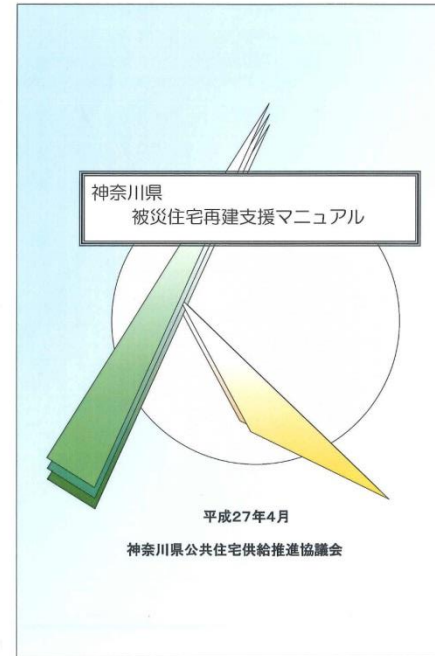
他県(関東甲信越)で災害が発生した場合に住宅相談を行う。





## ②神奈川県

### 「神奈川県被災住宅再建支援マニュアル」改定版説明会風景



災害は、県内のどこで発生するかを、確実に予測する事ができません。

しかし、地震の確率が高くなっている昨今、神奈川県と建築士会の実践的な協力体制を整える事が、急務と思われます。

神奈川県県土整備局建築住宅部住宅計画課住宅企画グループの二氏による改定マニュアル(平成27年4月)説明と防災委員会との意見交換会が行われた。



### ③ 関東甲信越建築士会ブロック会

協定関係にある1都9県(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟)への災害支援

#### 被災地住宅相談キャラバン隊(通称:キャラバン隊)について

被災した市町村の要請を受けた県が、被災地住宅相談を、国の協力のもと、同県の建築士会への支援要請を行います。

**県外における被災地支援**です。

要請を受け、被災地住宅相談が出来る会員が集まり、**グループ**でまとめ、

**専門知識のある建築士が被災地で住宅相談を行う事**を「被災地住宅相談キャラバン隊」と言います。



# \* 今年度の主な活動

平成30年度神奈川県地域住宅協議会  
災害時住宅対策検討部会 2018.11.29

(仮称) 神奈川県被災地住宅相談・災害時支援要請対応マニュアル



一般社団法人  
神奈川県建築士会  
防災委員会編纂

平成30年〇月

## 1. 県土整備局建築住宅部住宅計画課と 意見交換会(6月12日)

(仮称)神奈川県被災地住宅相談・災害時支援要請対応マニュアル

## 2. 講演会 (9月13日)

建築士として、防災の備えの1つ「社会貢献」について学ぶ

講師: 日本女子大学家政学部住居学科教授 平田京子

## 3. 建築士会全国大会さいたま大会(10月26日)

防災まちづくりセッション(被災地からの報告等)

## 4. 防災コラボセミナー(11月17日)

災害図上訓練 DIG

## 講演会

### \* 災害支援からみる

### 「社会に貢献する専門家」

—あなたは動き出す人になれるか—



一般社団法人 神奈川県建築士会・防災委員会

## \* 今後の課題として

1. 神奈川県自体が被災県になり、他県からのキャラバン隊(被災地住宅相談員)の応援を受け入れる時のコーディネートできる人材の養成、業務の具体的な内容の広報活動、地域行政との関係をどう構築するかを考えていく必要がある。
2. 建築士会が応援受け入れの一端を担うには、建築士として何が必要なのか？  
防災に関する地道な活動や情報発信を継続的に行うには？行政、地域自治会、各団体等との連携を、どのように構築できるのか？  
課題は、山積みです。

